



✪地域とともにある学校づくりをめざして✪

川東小学校コミュニティ・スクール通信

第17号

R7.8.29

地域フィールドワーク まにくるーん見学

8月1日（金）、今年度は地域フィールドワークで学区にあるくらしの循環センター「まにくるーん」に出かけ、学校運営協議会の委員の皆様と学校職員 計18名で施設の内外を見学しました。



出典：くらしの循環センター 真庭めぐり野菜



参加者からの感想

生ゴミリサイクル施設の「真庭市くらしの循環センター」を見学しました。想像していたよりずっと衛生的で、機械が次々と生ゴミを処理していく様子は圧巻でした。微生物の力でバイオガスと液肥へと生まれ変わる過程を知り、普段何気なく捨てている生ゴミが価値ある資源になることに感動しました。生ゴミ削減や分別の重要性を改めて感じる事ができ、非常に学びの多い体験でした。

学校運営協議会 会長 井上慈紹

申し込みをすれば、一般の方も施設見学ができます。

生ゴミ収集が本格的に始まり、自分たちが出した生ゴミがどのようにしていくのかを知るために、学区内にある「まにくるーん」の見学に行きました。施設の清潔さ、働く人の少なさや働きやすさは想像をはるかに超えていました。くらしを循環させることに意義と誇りを持っておられる担当の方から説明を聞き、「協力していこう」という思いを強くしました。学区内にある施設なので川東小の子どもたちも「まにくるーん」の見学に行き、知ってもらいたいと思いました。学校でもゴミの分別をしています。牛乳パックも燃えるゴミに入らずに分別していますが、これからも子どもたちとできることを考えながら進めていこうと思いました。

養護教諭 榎野 順子

地域にある施設見学から、真庭市の取組や環境問題について考えることができ、有意義な時間となりました。今後の子どもたちの学習に活かしていきたいと思っています。

